

週間漁海況情報—第28号

平成26年7月14日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/>で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

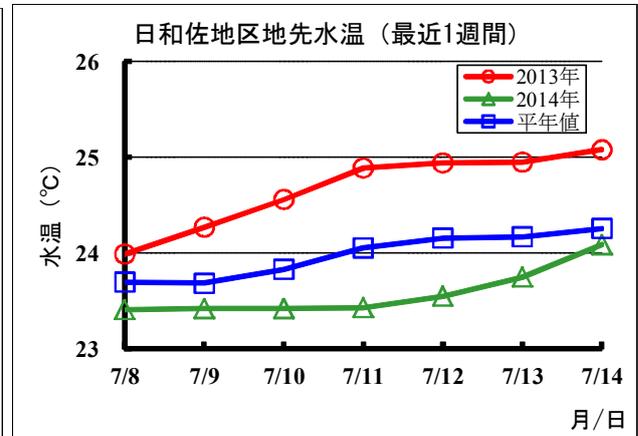
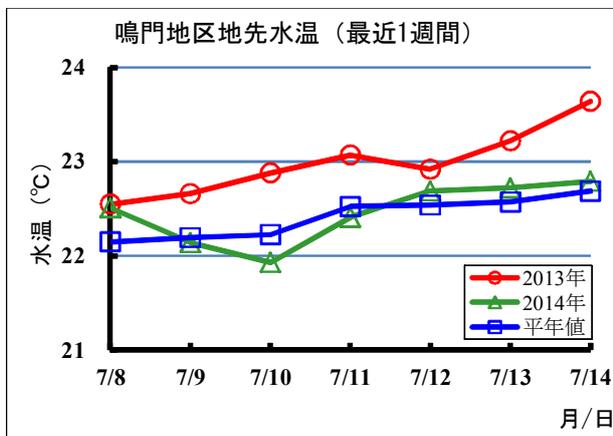
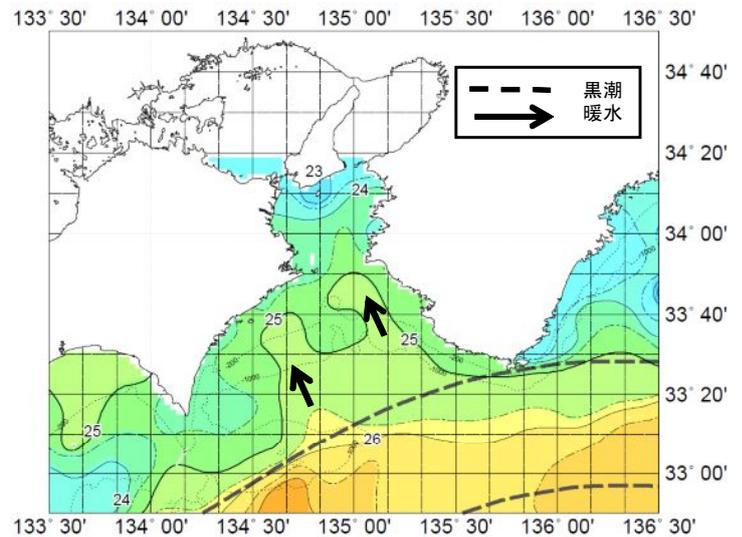
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H26.7.14）を示した。

黒潮は、室戸岬沖で、やや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、25～26℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で22～23℃台、紀伊水道では22～24℃台、海部沿岸は24℃台である。紀伊水道外域では、室戸岬と潮岬を結ぶ中央付近から複数の暖水流入がある。



地先水温 最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」の21.9～22.8℃、日和佐地区は「やや低め」～「平年並み」の23.4～24.1℃、牟岐地区は「やや高め」～「高め」の24.1～25.5℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

* 平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

2. 漁況の経過

台風 8 号による荒天のため、出漁回数が少なかった。

延縄：海部沿岸で小主体にアカムツが 0.3 トン（1 日 1 隻当たり 28kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラス 29.5 トン（同 475kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2014年7月7日～2014年7月13日

県下5漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	12	339	28	小主体
パッチ網	紀伊水道	シラス	62	29,450	475	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の7月8日～7月14日には、海部沿岸では、延縄で大主体にアカムツが1.2トン、大・中主体にゴマサバが0.3トン、小型定置網でマメ主体にマアジが2.3トン、マイワシが3.8トン、ウルメイワシが1.5トン、小小主体にアカカマスが0.2トン、大型定置網で大主体にシイラが0.3トン、釣りで大主体にイサキが0.2トン（7月8日に漁期終了）、紀伊水道では、釣りで、特大主体にタチウオが0.3トン、パッチ網で、シラスが78.1トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖において「離岸」、潮岬沖において「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」の22～23℃台、日和佐地先で「やや低め」～「平年並」の24～25℃台で推移する見込み。